

澤野大樹 仙台セミナー 第十三章 「インフルエンサー」

これまで澤野大樹氏には 2013 年 3 月 3 日「仙台縄文日高見アセンション 2013」以来、仙台セミナーを12 回開催できました。仙台、東北の地がこれからの時代の行く末にいかに関わって行くのか、斬新な視点で非常に興味深いお話を提示して頂きました。今回、第十三章「インフルエンサー」を開催させていただきます。あっと驚く切り口、展開で目から鱗の澤野ワールドに参加下さい。

【講演へのメッセージ】 澤野 大樹

クォーク、素粒子から人、社会、地球、太陽系、大宇宙は一本のメビウスの輪が一捻りされてフラクタルに展開されている。これまで「人」は、そのうち、「人」の領域でしか考えられなかった。しかし、私たちが「これこそが人である」と思っているものと、本当の「人」とは違ったのだ。

「素粒子一個」でありながら、それは「大宇宙全体」とフラクタルに直結している。つまり、それはすなわち、「ひとり」でありながら、「ひとつ」であることが同時に共存していることに気づくのだ。

精神世界の探求によって、知識として「ONENESS」を思い描くことも大切であるし、それは楽しいことだ。しかし、その「ONENESS」(ひとつ)には、じつは同時に「ONE」(ひとり)が同量にて均衡していることを見落としてはならない。私たちは真の「ONENESS」をつい求めがちだ。しかし、それではじつは不十分だった。スピリチュアル世界の究極を求め、真の「ONENESS」を生涯をかけてまで求めるのであれば、その労力と等しく匹敵するだけの「ONE」を考量していなくてはならない。しかし、多くはその甘美な「ONENESS」にのみ傾注し、しかもその意味を付和雷同的の仲間意識、ムラ意識であると徹底的に勘違いしてしまっているように見受けられる。「ONENESS」を追い求める者たちもつとも恐怖するのが、じつは「ONE」だろう。誰でもひとりや孤独を恐怖する。しかし、「ひとり」と「ひとつ」は同じメビウスで一捻りされて繋がっているリングなのだ。ならば、究極の「ONENESS」を求めるものならば、同時に究極の「ONE」をも極めなくてはならない。

この働きは、じつは「アラハバキ」の均衡作用そのものである。このことを発見すると迷路からの脱出は近い。素粒子が変わると、原子が変わり、細胞が変わり、身体が変わり、意識が変わり、社会が変わり、地球が変わり、太陽系が変わり、全宇宙が変わる。そして、この大宇宙とは、一捻りされて素粒子そのものと返る。これらのどの局面からでもそれらはメビウスの輪なのだから、すべては波及循環によってフラクタルとなっている。

ならば、人の、社会の、そして地球の、そして宇宙を刷新大変革を行うために必要なことは、決して「大事業」ではないことがわかる。メビウスの中の任意の「ある一点」に変革のスイッチを入れることができれば、そこから一気にそれは「インフルエンサー」としてメビウスの輪を高速で駆け巡る。

8 月の仙台天命塾での講演会では、最新時事解説をはじめ、この「インフルエンサー」についてお話したいと思います。

澤野大樹(さわの・たいじゅ)さんのご紹介 1971 年東京生まれ INTUITION <http://www.intuition.jp/>
 日本大学芸術学部映画学科卒業。たま出版、たまメンタルビジネス研究所にて、日本のスピリチュアル界の草分け的存在であった瓜谷侑広氏の下で研鑽を積む。独立し、1997 年より独自の哲学的視点を綴った『情報誌 INTUITION』の発行が始まる。以来、17年間経った今でもその執筆は続いている。この『情報誌INTUITION』の執筆が、私の活動の基礎中の基礎であり、ここから様々な企画などに派生していくことになる。たま出版時代から、成功法則、思考現実化法、サブミナル、マインドコントロール、玄米菜食、魔術、超能力開発、ヒーリング、占い、瞑想、自己催眠術、パワースポット、秘密結社、陰謀論など、ありとあらゆることを体験し、そのことを踏まえた上で書かれる『情報誌INTUITION』は、客観的で多次元的という非常に稀有な形態を持っている。執筆している本人に、「これから何を書くのか?」ということに対する明確な意識は存在せず、執筆しながら本人が一番驚き、感動し、喜ぶというこれまた稀有な創作過程となっている。それゆえに、完成された情報誌は、もはや「この世のものではない」と言われている。通常想定される「情報誌」というものとはまったく違い、筆者は、この情報誌の執筆を、ひとつのストーリーを紡ぎ描く手段であると捉えている節がある。いきなり出会っての初見では何が書いてあるのかわからない。しかし、じっくり何度も読んでいくうちに、後になってからジワジワと効いてくるという、不思議な感覚を呼び覚ます珍しい情報誌となっている。そんな筆者だが、たまに勉強会や講演会なども行っている。講演は、すべての文言が一字一句迷わずに、講演直前に活字化され、講演原稿として用意される。講演と同時に 100%完璧な活字版も完成しているところが大きな特徴である。これまでの講演会は、すべて 100%活字で保存されている。また、このインターネット全盛期の現代において、『情報誌INTUITION』は、A4 用紙による紙媒体による発行だ。なぜならば、現代においても、国家間の取り決めや条約の調印式は必ず紙の書面に万年筆であるように、歴史に残るものを創造する場合は、紙に記す必要があると考えているからだ。紙ならば 1000 年経っても残るからだ。『情報誌 INTUITION』をぜひご購入ください。 著書「瀬織津姫システムと知的存在MANAKAが近現代史と多次元世界のタブーを明かす」文芸社

- ・日 時: 2017 年 8 月 6 日(日) 15時半~17時 45 分頃(開場 15時)
- ・会 場: あわの里 天命舎 仙台市青葉区国分町 3-9-32 仙台 ATOWA ビル 5 階 022-399-7674
- ・参加費: 5000円(仙台テンメイ会員以外&当日参加 5500円)参加費は当日支払下さい。 定員 : 30 名
- ・懇親会: 講演会終了後、澤野さんを囲んで懇親会を開催します。参加希望の方は申込下さい。
- ・申込み: 参加申込書に記入し、FAX、電話、Emailで申込み下さい。 仙台天命塾 HP <http://genkiup.net/>
- ・問合せ: 仙台天命塾 大久保 TEL/FAX 022-279-1024 090-8786-7300 E-mail atowa999@gmail.com

仙台天命塾 第 299 回オープンセミナー 参加申込書 講師 澤野 大樹さん
 FAX 022-279-1024 2017年8月6日(日)

| | | | |
|--------|-----|-----|--------------------------------|
| 氏 名 | 会 員 | TEL | |
| E-mail | | FAX | |
| 住 所 | 〒 | | 懇親会参加 <input type="checkbox"/> |